

受講者  
募集

平成29年度 まちづくりセミナー  
安心して暮らせる支え合いのまちづくりを目指して  
~身近なふくしの現場を探る~

社会福祉ボランティア大学校では、「平成29年度まちづくりセミナー」の受講者を募集しています。今年度のセミナーは、「子育て支援」「高齢者支援」「まちの活性化」をテーマに実施します。

今、地域に何が必要かを考える講座です。それぞれの地域が抱える様々な問題を解決するため、最新の情報を提供します。未来の日本をつくる、心豊かでたくましい子どもを地域全体で育み、高齢者が安心して暮らせるための地域づくりをお手伝いします。

■研修内容

第1回 5/27(土) 10:00~12:00

「子どもの未来を応援」

~子どもの貧困対策を考える~

NPO法人 抱樸 理事長 奥田 知志

第2回 6/3(土) 10:00~12:00

「買い物支援で高齢者にいきがいを」

~地域に参加 おもいをカタチにするために~

葛原校区社会福祉協議会 会長 桑原 英夫

第3回 6/24(土) 10:00~12:00

「集まって住むってステキ」

~シニアシェアハウス~

高齢社会をよくする北九州女性の会  
代表 富安 兆子

第4回 7/1(土) 10:00~12:00

「まちづくりのコミュニケーション術」

~20年後を考える~

西日本工業大学 客員教授 九十九 誠

第5回 7/12(水) 13:00~15:00

「子ども食堂」

~子どもの居場所づくり~

九州環境プラン(株) 代表取締役 岡本 寛大

- と ころ: ウェルとばた12階H・I研修室他  
(第2回目は葛原市民センター 現地集合・解散)
- 対 象: テーマに関心のある方30名  
(申込多数の場合は抽選させていただくことがあります)
- 受 講 料: 700円(5回分)
- 申込方法: 5/12(金)までにお電話か申込用紙にご記入の上  
郵送またはFAXでお送りください。

受講者  
募集

福祉有償運送運転協力者研修  
運転ボランティアの入門研修



国土交通大臣に認定され、平成17年度から開始した「福祉有償運送運転協力者研修」は平成27年度までに約2,000名が受講し、高齢者や障害のある人などの外出支援を行う福祉有償運送実施団体の運転ボランティアとして活動しています。

研修では車いすの積載装備を持つ福祉車両の研修と、装備のない車で活動するためのセダン型研修があります。高齢化が急速に進展する中、利用希望者の増加が予想される在宅高齢者の外出支援に対し、この研修を受講して新たな活動者としての第一歩を踏み出してみませんか。

	福祉車両	セダン型	申込期間
会 場	玄海青年の家	ウェルとばた	—
第1回	29年6/11(日) 9:15~18:25	6/17(土) 9:15~11:45	5/2~5/25
第2回	29年10/15(日) 9:15~18:25	10/21(土) 9:15~11:45	9/12~9/29
第3回	30年3/3(土) 9:15~18:25	3/4(日) 9:15~11:45	2/1~2/16
受講料	市内福祉有償運送実施団体登録者 1,000円。 それ以外の方 7,000円。		

シリーズ福祉エッセイ「しあわせづくり、ひとづくり」⑱

平成28年度 企業・社会福祉法人の社会貢献活動セミナーを終えて

今般の社会福祉法の改正に伴い、社会福祉法人では、地域における公益的な取り組みを実施する責務が規定されました。平成29年2月22日(水)に開催されたセミナーには、102名もの多くの参加者が集まり、地域の一員として貢献活動をする事の意義・重要性等を学ぶ中で、法人制度改革に向けた熱意・決意を感じさせるセミナーとなりました。今回のエッセイでは、セミナーでの事例発表者お二人から、今後の「社会福祉法人のあり方」についての想いを寄せていただきました。

地域に開かれた  
高齢者福祉事業



若松区特養ネットワーク勉強会  
会員施設 あますみ園 統括主任

小林 雄 さん

若松区特養ネットワーク勉強会とは、若松区内の5つの特別養護老人ホームで組織されており、施設レベルの底上げ、職員教育、交流を行いながら地域貢献として買い物支援事業なども展開しています。

若松区特養ネットワーク勉強会で地域と共に活動していく中で一番、大切なのは地域のニーズを把握する事です。押しつけがましい活動や地域の方に望まれていない活動は地域貢献事業とは呼べません。

高齢者介護施設を持つ社会福祉法人は高齢者を支えていくための武器、ヒト、モノ、ネットワークこの三つを持っています。この三つの武器を活用し我々ならではの取り組みを常に模索しています。

人が人を支える時、大変な労力とエネルギーを消耗します。冒頭の買い物支援事業についても行政や市場関係者、民生委員、私達と皆で高齢者を支える活動だからこそ、現在まで続ける事が出来ているのだと思います。

社会福祉法人は高齢社会の不安を埋めていくパズルのワンピースであり、そのパズルはみんな埋めていくものです。

一人や一事業所ではなくみんなで取り組むからこそ、早く正確に完成するのです。完成されたパズルこそが「みんなファースト」地域が一体となった福祉の姿だと思っております。

地域に開かれた  
保育園について



北九州市保育士会戸畑支部 会長  
中原保育園 園長

井上 清美 さん

老人会・地域の方々が気軽に保育園へ立ち寄り、保育園の行事も参加することで、子どもたちとの距離感も縮まりほのぼのとした光景が見られるようになり、地域の方はより保育園を身近に感じてもらっているようです。

また、子どもたちの学びとして伝統行事や伝承あそび、自然体験などを伝えていくことで、生活の知恵を教えて頂き、体験をすることで子どもたちの心に残り、次の世代につなげていく一歩になっているのではと思います。

コミュニケーションの第一歩として「挨拶をすること」など、無理なくできることを自然な形で行うことで地域の方との交流を深めています。子育て支援がイベント化せず、質の向上も図っていけるよう職員間で意識し継続して、地域の方にも保育園の事をより身近に感じて頂きたいと思っています。

一緒に子どもたちの未来、成長を見守って頂き保育園が出来る公的な取り組みとして、皆さまとの触れ合い・笑顔あふれる町づくりのお手伝いがこれからも出来ることと、地域に根ざした保育園でありたいと願い子どもが大人になりまた、地域に貢献できることが保育園の役割だと思い、自分の生まれ育った地域を大事に出来る様「人育て」の役割をこれからも行っていきます。

「スマイル to Smile」子どもたちから広がる笑顔の輪がこれからも広がっていくことを願い携わっていきます。